



2月定例会が始まりました

2月定例会が19日から始まり
ました。(3/22まで) 来年度の予算
を審議する議会です。

一般質問の日程は

勝川 3/4(月) 午前9時～

不登校支援 困窮者支援 部活
動の地域移行 会計年度任用職員
の処遇改善

大井 3/5(火) 午後1時～

能登半島地震等受けての防災対
策 カーボンニュートラル実現の
ために

いつも思いをありのままに伝え
きれないもどかしさを感じていま
す。傍聴は議場でもネットでもで
きます。録画もありますので是非
生のやりとりを聞いてみて下さい。

来年度の予算案の中には

市民要求実現の提案も

带状疱疹ワクチン・おたふく

ワクチン接種助成制度の創設

● 生ワクチン3千円

● 不活性化ワクチン5千円×2

● おたふく2千円

市民からの請願・陳情がとおっ
た事を受けて予算化されました。
好評な補聴器購入助成も補正で今
年度予算が増額になり、来年度も
引き続き予算化されています。

小中学校の給食費保護者負担の

一部減免(昨年度上げた12%分)

保育所等の給食費補助

国の交付金を活用し昨年度の措置
を継続させます。

高齢者お出かけ交通券助成

● 免許返納者と高齢者への5千
円分/年のタクシー券、バス・
天浜線乗車券などの配布

高齢者のみ世帯に限られますし、
一律5千円では地域によっては…
とも思いますが、一歩前進ですね。

ごみ減量化のために 生ごみ処理機 購入助成・剪定枝等処理事業・堆肥 化設備設置助成など

詳細の説明はこれからですが、
利用しやすい運用などを提案でき
たらなと思っています。

困っている人に寄り添って 支援につなげるために

税金滞納の方は、他にも借金があつた
り、家族のことで問題を抱えていたり、
多角的な支援がないと困りごとが解決し
ないことが多いです。

市は「税金が取り立てられればいい」
ではなく、払える税金にしないといけな
いし、払えるように支援するべきです。

どこかの政治家の皆さんが使途も秘密
のお金が非課税なのが許せないです。

掛川市はセイフティネットである生活
保護の利用率が全国平均の1/6程で、
親族に知らされる、車がないと仕事に行
けないと思い込み、申請をあきらめてい
る方も多いと思います。ちゃんと申請で
きることを周知するべきです。

利用者数によって配置が決まるケース
ワーカーも全国平均の1/6。この間制
度利用者の生活実態が把握できてない
な、対応が冷たいと思う事例にもいく
つかぶつかりました。

掛川市も被告となっている生活保護の
基準切り下げの違法性を問う「命のとり
で裁判」では昨年5月に国・市側が地裁
で敗訴、12月には名古屋高裁が同様な
裁判で基準切り下げを違法とし、国家賠
償を命じる判決を出しています。

自己責任の押しつけではなく、なにか
あっても安心して生きられる弱者にやさ
しい政治を求めます。



ねずみ山の
シロバナ
タンポポ

内閣支持率16.9%

(時事通信調査)

不支持率60.4% 裏金調査
もまともにできず、責任も取らな
い。少子化対策など数字を出して
きましたが、財源は私たちから別
のところ取ってきてまわすだけ
大もうけの大企業や富裕層に減
税してどうするのか。所得減税分
は国で全額補填と言っていたのに
市の収入はしっかりマイナスです。
国の決めた事業に市の負担もち
やかりついてきます。どうかだま
されなくてほしい。

現在の中学校の

部活動へ参加は約9割

地域移行でどうなるのか

教育委員会は、生徒の中にはみ
んなはいっているからとやってい
る子も多いからこのキャパは必要
ない、参加率は下がってよいと考
えているようです。

心も体も成長する中学校時代に、
異年齢の中で授業以外のスポーツ
や文化活動に参加する教育的意義
を、家庭と子どもの責任にしてし
まって、掛川の子どもの育ち
は本当に大丈夫なのかも疑問です。
家庭の状況なども考えると、私
は、「参加したくない」のと「参
加できない」のは紙一重のような
気がしています。